

目 次

□巻頭言 建設機械の完全完工……………飯 田 房太郎/1
 石狩湾地域開発計画の概要……………田 中 敦 幸/3
 本州四国連絡橋の施工機械
 (下部工の施工法と施工機械)……………新 開 節 治/7
 海底発破による掘削実験……………渡 辺 登/13
 J.C.M.A. 欧州建設機械化視察団報告……………野 原 以左武/21

グラビヤ—ハノーバーメッセ&エステイモ'73

□昭和 47 年度官公庁・建設業界で採用した新機種
 建設省で採用した新機種……………中 野 俊 次/29
 大 城 忠 士
 運輸省港湾局で採用した新機種……………麻 山 和 正/41
 日本国有鉄道で採用した新機種……………五十嵐 伊三郎/43
 日本鉄道建設公団で採用した新機種……………桜 沢 昇/46
 日本道路公団で採用した新機種……………秋 田 勲/51
 本州四国連絡橋公団で採用した新機種……………沢 田 茂 良/53
 建設業界で採用した新機種……………片 藤 裕 俊/58
 佐 藤 武

□随 想 中国を旅して……………斎 藤 二 郎/74

□新機種紹介

KATO NK-160 C

全油圧式クローラクレーン……………鈴 木 一 誠/78

P&H 6250-TC トラッククレーン……………原 田 勲/79

日立全油圧式クローラクレーン

KH 100 および KH 180……………安 川 隆 造/80

□建設機械化講座 第120回

現場フォアマンのための土木と施工法

XVII. 建設機械概説

8. コンクリートポンプ……………三 浦 達 男/81

□工事現場巡り

青函トンネル建設工事を見る……………谷 脇 博/89
 原 田 誠

池田ダム建設現場を訪ねて……………浜 田 邦 典/92
 角 田 幸 平

第 24 回定時総会開催……………/95

□建設機械化研究所抄報 <No. 96>

286. 小松 D 30 S-15 形履帯式トラクタショベル性能試験……………/103

287. 小松 D 30 A-15 形ブルドーザ性能試験……………/105

288. 東洋運搬機 55 形車輪式トラクタショベル性能試験……………/106

ニ ュ ー ズ……………(編 集 部)/109

行 事 一 覧……………/111

編 集 後 記……………(新 開・両 角)/112

◀表紙写真説明▶

大阪南港連絡橋工事で活躍する

P & H 6250-TC トラッククレーン

株式会社 神戸製鋼所

写真は阪神高速道路公団の南港連絡橋架設工事に活躍する P & H 6250-TC で、つり上げ能力 227 t、最大ブーム長さ 122 m という世界最大のトラッククレーンであり、従来の工法では果たし得なかった機械の大形化、大重量化を可能にし、超重量物荷役、高揚程作業に大きな威力を発揮し、ジャンボ時代の切り札として名実ともに時代の脚光をあびている。なお、この連絡橋は大阪市港区港晴から住吉区南港を結ぶ橋で、大阪港でもっとも航行量の多い 600 m の海域に架けられ、完成の時にはトラス橋(鉄道橋を含む)としては世界第 3 位の長大橋となる。

(本誌 79 頁参照)